

米沢市安全・安心の地域づくり西部の会（山形県）

活動地域の紹介

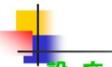
最初に、米沢市という地域をご紹介します。約 400 年前のことになるかと思いますが、大河ドラマにもなった直江兼続と、伊達政宗という武将達が活躍した地域になります。米沢市の人口は9万人弱、川西町が1万7千人弱で、この2つの市と町が米沢警察署の管内になっております。面積だけは非常に広く、三方を2,000メートル級の山々に囲まれた、非常に風光明媚な田舎の町です。



団体の発足経緯

子どもが犠牲になる凶悪事件が全国的に多発していた平成16年に、私の孫も小学校に入学しました。毎週のように不審者や事件が発生し、いつかは米沢でも起こるのではないかという気持ちで子どもの見守りをしていました。

私たちは、何とかしなければならぬという思いから地域に声を掛けて、保護者、学校、PTA も含めて防犯パトロール隊を結成し活動を始めたのですが、少人数ではどうにもなりません。私の住む西部地域というのは1学区で700人の子どもがおり、世帯数は4,000世帯になります。この地域を守るにはどうするかということで、学校に相談に行ったら、丁度、不審者が出る通学路のマップを作っておりました。そこを皆さんで見守りしようと募集したところ、年齢は問わず家庭にいらっしゃる方、または仕事が休みの方等、合わせて280名ほどから集まっていただきまして、子どもたちの下校のときに各通学路に見守りに出いただきました。

 <h3>西部の会</h3>	
設立	平成18年2月
組織	地区内の関係団体と代表者 現在 20団体と代表者43名
事務局	西部コミュニティセンター
目標	子どもの通学路の安全確保 地域住民が安心して暮らせる地域づくり
「安全 安心 地域一体活動」	

<h3>参加団体</h3>	
・ 町内会長	・ 社会福祉協議会
・ 地区委員	・ 更生保護女性会
・ 市民憲章推進委員会	・ 幼稚園、保育園、乳児園
・ 西部交番連絡協議会	・ 青少年育成地区民会議
・ 防犯協会	・ 民生委員児童委員
・ 衛生組合	・ 小学校と教育会
・ 交通安全協会	・ 中学校と教育会
・ 交通安全母の会	・ 西部コミュニティセンター
・ 少年補導員	
・ 米沢市消防団分団	など 20団体

ただ、それだけではなかなか思うようにはいきません。豪雪地帯なので、冬の子どもの安全ということを見ると、これまた大変なのです。こうしているうちに、総務省の安心安全の対策のコンペがあり、それに応募させていただきました。その結果、東北で唯一、補助対象にさせていただくことができました。補助対象事業となったものは、子どもたちにICタグを持たせることと、各通学路に約200個近いスピーカーを取り付けて、学校から「ただいま子どもたちが帰りますよ」というようなアナウンスをしてもらって、それが

聞こえたら、うちにいる人たちがみんな道路に出て、子どもを見守るという事業です。

また、この事業に先立ち、簡単に何かできないかと思って学校に相談し、6年生 120 人から募集したデザインで「パトロール中」というステッカーを作りまして、各家庭なり自家用車に貼ってみました。防犯に対する意識改革という目的で作ったのですが、これを貼っている家庭では泥棒も入らないと評判になりまして、町の飲み屋さんの裏口までこれを貼っている所もあるなど、現在でも使われています。

主な見守り活動

- 見守り隊募集 約280名
- 小学生デザイン「安全・安心のステッカー」2万枚作成
- 総務省 児童見守りシステムモデル事業
全児童にICタグ
通学路にスピーカー200基

活動内容～青色回転灯装備車両による防犯パトロール活動

次は、見守り隊の様子なのですが、それぞれの通学路に近所の人たちが見守って声を掛けるという単純なことなのです。地域の方が一生懸命に活動してくれるので、米沢警察署長から、「西部地域に行くと、ここが西部地区だとわかるぐらいにぎやかに見守り活動が行われている」と講演で言われたこともあります。10人、20人が専門的に回って見たって限度がありますので、私はどんなことをやるにしても市民参加の大きな輪になって行動していきたいものだと提案してきました。ここ5年間は学区内で大きな事件・事故がないということを警察の方からお聞きしましたので、多少はお手伝いになっているのかなと思っています。

警察や関係団体の方たちが地域の安全のために努力し、事件や事故の発生件数は少なくなっているものの、これをもっと減らす方法はないかなということで考えついたのが、青パト活動になります。

3年前、夜8時ころ、米沢市内で女子高校生が顔を切り付けられるという大変な事件がありました。他にも暴行事件があったり、そんなことが西部以外の地域であったので、米沢市全体で犯罪や交通事故をなくす方法はないか、お金も掛けずに労力も手間も掛けないでできることは何かと思ひまして、青色回転灯を私費で付けてみました。これには法的な緩和もでき、所定の手続をすればできるということ知ったので、皆さんに声を掛けました。現在、米沢警察署管内の青色回転灯装備車は約400台、講習受講者は1,000名を超えるまでになりました。前回の講習会も約120名が受講し、これから受講する人もまだまだ増える予定であります。

以前、青パトの防犯講話に行きました。その際、青色の光を放ちながら走っている車を見て、これはホテルのような、ホテルのパトロールという名前にしたらネーミングとしてどんなものかなと思って、皆さんにお勧めしたこともあります。

青パト 蛍のミニパトロール

- 日中 → ご年配の見守り隊
- 夜間 → 警察に協力する 市民参加の防犯活動

車両に青色回転灯を付けて 仕事帰りに町内のミニパトロール

ミニパトロールの普及のために

- 協力要請のチラシ4000枚を全戸配付
- 西部・地域安全安心フォーラムの開催

見守り活動だけでなく、少年の非行防止や子育て論まで発展

青パトの導入 警察・交番との連携

昨年6月には、米沢警察署管内の目標を 500 台、1,000 人以上の従事者を構成したいということをお願いしてきたところ、半年間で大体目標に近いくらいのメンバーが集まりました。しかし、これからの課題ですが、頭数だけでなく活動率を高めて、もっとも交通安全や犯罪の少ない町にするように、第2段階の努力をしていきたいと思っています。

青パトの紹介方法は、警察からのアドバイスがあり、防犯活動をしながら勧誘に努めました。その結果、皆さんに「それだったらやってみようか。」と賛同をいただきました。

これこそ市民総参加でできる活動ではないかなと思っています。

警察署長をはじめ、我々も中心となりながら、よりよいまちづくりに貢献していきたいと思っています。

私は会社を経営しておりますが、社員の車にも回転灯を付けてパトロールしてもらっています。1日1回社会貢献するために、余暇があれば町内を回る。地域を回りながらパトロールをしていく。500 台の青パトで米沢市中を回るように、皆さんと共に声を掛け合いながらのパトロール、ごく単純なことなのです。

交通安全協会、防犯協会、安管連、いろんな団体が誇りを持って活動に参加しておりますので、回転灯を付けての防犯活動、交通安全の活動に参加していただだけなのです。光の効果というのは莫大なものがあると確信しておりますので、皆さん方にもご提案申し上げたいと思います。

それから、昨年10月13日に県の総合支庁前で出発式をやりました。150 台の青色回転装備車が集まって出発式をしたことがあります。

**西部地区から
米沢市・川西町全体に青パトの
輪が広がった**

**防犯・交通安全の垣根を越えて
青パト出発式を開催**

**平成23年10月13日
山形県置賜総合支庁駐車場**

16団体 青パト150台 約180人参集



米沢には 26 校、約 7000 人の小学生がいますが、その小学校全部で出発式をしました。冬は寒いので体育館で出発式を行い、校長先生、警察署長からの訓示もあり、青パト隊の必要性を子どもたちに教えていただきました。

今、回転灯を付けてパトロールをすると、子どもたちが手を振ってくれます。それだけでも励みになると、うちの社員なんかは非常に気を良くしております。警察のパトカーも回転灯を付けた車とすれ違うと合図

をしてくれる。車の運転は、見方によれば孤独感を感じるかもしれませんが、回転灯を付けて運転すると交通事故には気を付けなければならないと感じます。それから、社会に貢献する純真さは、人の脳の働きを良くすると専門家が話しているようです。米沢警察署管内で、1,000 人の青パトの隊員が絶対に



事故を起こさないように気を付ける。それだけでも価値があるのではないのでしょうか。防犯の他にも、事故が減少する、二重の社会貢献ができるのが青パトだと思っています。

また、活動の際の、防犯協会の帽子やベストですが、これはあるものを使うのが良いと思います。防犯の人は防犯のベストを使う、交通安全の方はその持っているベストを着ながら活動をする。過剰投資はまずしないで、予算内で皆さんの意志を高め参加してもらうことが必要ではないかと思っています。

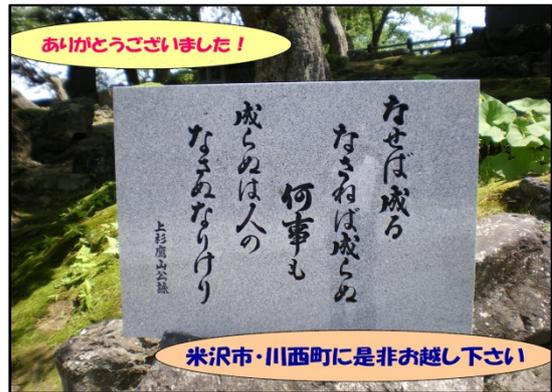
小学校での出発式で、米沢警察署長がこれからまだまだ魂を入れてこの青パト隊を成功させるのだと言っておりました。私は感動し、何とか署長の思いをお手伝いしながら、犯罪、交通事故のないまちづくりに協力していきたいと思っています次第です。

今後は、米沢市内の26小学校の出発式では、子どもと父兄から青パト隊を理解してもらい、参加してもらう。子どもたちが青パトとパトカーを見た場合は手を振ってもらう。単純なことなのです。そうすると、ほかの学校の子どもたちも夕方帰るときは、グループの中で1割ぐらいの子どもは手を振り返す。そんなことを何年かやっていくことによって、良い子どもたちが育っていくのではないかなと思っています。

1,000人が集まることはなかなか出来ないなので、地域ごとに防犯フォーラムや、リーダー研修など効率のいい活動をやっていきたいと思っています。



最後になりますが、270年ほど前、米沢藩主だった上杉鷹山公が残した言葉に「なせば成る、なさねば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり」という立派な格言があります。米沢ではこれを教訓にしながら、各団体、業界を含めてまちづくりに取り組んでまいります。



質疑応答

●質問 青色回転灯パトロール車は、私たちもやらせてもらっていますが、これだけの数の費用はどういうふうな捻出をされているのですか。

○回答 回転灯1個3万円とか5万円と言われれば、自己資金では買えないですが、数千円だったら一晩飲む酒代にもならないのではないかというような冗談を言いながら、自己資金で買って、勇気を持

ってこの隊員になってほしいということを私は言っております。

●質問 購入するのは、まず低額の数千円で終わりますが、パトロールをするとガソリン代とか、全部自費ですか。

○回答 3年前に校長先生に青パトの話を持ち込んだら、事故を起こしたら誰の責任だ、油代は誰が持つのだ、それから、手間賃は誰が持つのだという話を最初に言われましたので、私は「活動は全部自己責任です。それができない人はお断りする。」と言いました。また、パトロールをする心意気があれば、居眠り運転ややぼんやり運転はできないはずだと話をしております。私がやってみると、なんぼ夜でも目が覚めます。だから、今日ここに全員が青パトをしても、恐らく、事故を起こす人はいないと思うのです。活動の効果を考えれば、数千円は惜しくないと思うのです。防犯ベストもあるものを使えばいいわけですから。だから、当方の組織に役員はいますが、会計はいません。お金がないから。お金は100円でも預かれば事務が大変です。そこで、やれるところまで予算なしでやってみよう。もっと発展して、お金をかけて投資効果があるということが思い付いたら、がっちりお金はかけたいと思います。そんなつもりで現在おります。

●質問(司会) なかなか車両購入代金の捻出は難しい、現実にもこのような問題を抱えている団体はあると思います。実は、日本財団という団体があります。日本財団では、青色防犯灯装備車の購入に当たる代金の助成事業をされています。今日、日本財団さんが来ておりますので、ちょっとだけお時間を頂戴して、皆様方にご案内を差し上げたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

○回答(日本財団) ご紹介いただきましてありがとうございます。東京から参りました、日本財団の高木と申します。本日は、いろんな団体さんの発表を聞かせていただきましてありがとうございました。当財団では、青パトが地域のまちづくりの活性化とか、防犯に効果があるということで、2007年から青パトの購入支援をさせていただいております。上限130万円で、総額80%以内でご支援させていただいております。現在では全国で111台の青パト購入を支援させていただきました。

申請に関しては、年に2回申請時期を設けており、次年度、2013年度に関しましては、6月と10月に申請期間を設けさせていただきました。6月に関しましては残念ながら終了しました。

また、今年の3月17日に第1回目の全国青パトフォーラムを開催させていただきました。その効果もあってか前年度の2倍の申請件数をいただきました。ただいま審査をさせていただいているところであります。

6月の申請分に関しましては、今、審査をしており、電話でのヒアリングや実地調査を行い、大体9月中旬には採択が決定いたします。その場合には、年度末には新しい青パトが購入していただけるという流れになっております。

また、10月の申請期間に関しましては、全て、当財団のホームページより情報を公開しておりますので、これから青パトを購入したいとお考えの皆さん、是非ホームページをご覧くださいと思います。

2007年から支援させていただきました青パトの団体様に関しまして、「チーム青パト」というブログで皆様の活動を随時アップデートしております。こちらのブログを全国の青パト活動をしておられる団体様のネットワークに使っていただければと思っております。

最後に、来年3月9日(土)に大阪市内で第2回目の青パトフォーラムを開催することが決定しております。こちらでもブログ「チーム青パト」で詳細を載せたいと思っておりますので、随時チェックしていただければ幸いです。フォーラムでは、継続的な資金のやり繰りの仕方であったりとか、これから青パトの団体を

立ち上げるに当たっての設立事例であったりとか、さまざまなことに関しまして議論を深めていきたいと思っております。今後とも日本財団のホームページ、また「チーム青パト」のブログをよろしく願いいたします。本日はお時間ありがとうございました。

●司会 どうもありがとうございました。